

令和8年度 小平市立小平第五中学校 学校評価計画表

学校教育目標	人間尊重の理念を正しく理解し、健康で自ら学ぶ意欲にあふれ、自然と平和を愛し国際社会に貢献できる生徒の育成を目指し次の目標をおく。 ○ 考える人間 ○ たくましい人間 ○ 思いやりのある人間
目指す学校像(ビジョン)	○ 生徒にとって楽しく安心して過ごせる「居場所」であり、自立に向け社会性を身に付ける「学びの場」である学校
【目指す学校像】	○ 規律を守りつつ自他を尊重し、社会に貢献できる生徒
【目指す児童・生徒像】	○ 自ら学び、よく考え、正しい判断ができる生徒
【目指す教員像】	「チーム五中」 ○ 生徒一人一人を大切に、生徒の良さや個性を伸ばす教職員 ○ 教師同士が互いを認め、信頼し、協力できる教職員 ○ 常に自らを振り返り、日々研鑽に努め、切磋琢磨できる教職員 ○ 地域や保護者と積極的に関わり、信頼に応える教職員

前年度までの学校経営上の成果と課題

- ・教員が生徒と丁寧に対話することで、生徒と家庭の納得ある生徒指導を行うことができた。一方情報共有を要とした組織対応に時間がかかることが課題である。
- ・不登校やその傾向のある生徒について、状況に合わせた支援を行い不登校発生率を減少させることができた。一方で不登校となることが予想された生徒の要因解消に至らず不登校となったケースがあつ

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標	
学 力 向 上	生徒が「できた、分かった」と実感する授業の展開	・教員の基本的な授業展開の共通理解と実践。	・授業毎のねらいの明示 ・単元ごとの授業内容の振り返り	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査での肯定的回答80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 生徒アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 生徒アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 生徒アンケート調査での肯定的回答50%未満	
	生徒自身による学習状況や到達度等の自己理解力育成	・ICTを活用した教育活動の工夫	・場面に応じた授業支援ソフトの活用 ・スタディサプリの授業と家庭学習での活用	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査での肯定的回答80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 生徒アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 生徒アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 生徒アンケート調査での肯定的回答50%未満	
健 全 育 成 (い じ め 防 止)	学校生活における「感動体験」の推進	・特別活動における合意形成及び意思決定を意識した学級活動の展開 ・学校行事等の取組の充実	・こたいら特別活動の日に立てた目標達成に全校で取り組む ・特別活動を要とした、生徒が考え、工夫し、取り組む学校行事の推進	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査での肯定的回答80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 生徒アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 生徒アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 生徒アンケート調査での肯定的回答50%未満	
	多様性を受け入れ、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応の徹底	・教職員の組織的な対応力向上 ・教職員の多様性への理解を基にした生徒一人一人に合わせた配慮の推進 ・生徒理解と生徒情報の共有、学年団を主体とした生徒の見取りと生活指導	・生徒が教員等に相談しやすい関係づくり ・全学年で発達段階に応じた外部講師による「性教育の授業」の実施 ・いじめ調査による実態把握と対応	4 いじめ調査 実施回数年間8回以上	4 生徒アンケート調査での肯定的回答80%以上	
				3 いじめ調査 実施回数年間6回以上	3 生徒アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 いじめ調査 実施回数年間3回以上	2 生徒アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
				1 いじめ調査 実施回数年間3回未満	1 生徒アンケート調査での肯定的回答50%未満	
特 別 支 援 教 育 の 推 進	通常級における合理的配慮の推進 支援を要する生徒への校内委員会を通じた適切な対応 特別支援学級との交流による教職員の理解推進	・特別支援教育コーディネーターを要とした校内委員会の実施と、情報共有及び具体的対応策の検討	・「合理的配慮が進んだか」「支援を要する生徒に具体的な対応ができたか」についての教員アンケート	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 保護者アンケート調査での肯定的回答80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 保護者アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 保護者アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 保護者アンケート調査での肯定的回答50%未満	
	業務改善・働き方改革	業務や組織体制の見直しと校務改善による校務分掌の Slim 化と効率化	・校務分掌ごとの時期ごとの業務記録と負担や進捗の把握、次年度計画の作成	・校務分掌ごとの年間計画の確認 ・担当業務の割り振り状況確認と進捗把握、実態に合わせた主任による調整	4 3点とも実施	4 教員アンケート調査での肯定的回答80%以上
					3 一つだけ実施	3 教員アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満
					2	2 教員アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満
					1 全て未実施	1 教員アンケート調査での肯定的回答50%未満
業務改善・働き方改革	・ICTを活用した校務DXの実現	・ICTを活用した、連絡事項伝達や打ち合わせ時間の削減 ・家庭連絡や欠席連絡、校内連絡のICT化	・ICTを活用した、連絡事項伝達や打ち合わせ時間の削減 ・家庭連絡や欠席連絡、校内連絡のICT化	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 教員アンケート調査での肯定的回答80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 教員アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 教員アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 教員アンケート調査での肯定的回答50%未満	